

さあ、言葉の海へ



しばしば
飢渴は屢々 魂を星に似せる
鈴木 漠



晩冬の東海道は薄明りして海に添ひをらむ かへらな
紀野 恵



何もかも散らかして発つ夏の旅
大高 翔

徳島県立文学書道館 文学特別展

現代詩歌の冒険

徳島の
詩人・歌人・俳人たち



背骨を愛されたことのない女は
水を飲むときののけぞりかたが下手だ
清水恵子



わたくしの瞳になりたがつてみる葡萄
野口る理



桃色の炭酸水を頭からかぶって死んだような初恋
田丸まひる

2019年12月14日(土)~2020年2月11日(火・祝)

[休館日] 月曜日 (ただし1月13日は開館、1月14日は休館)、年末年始 (12月28日~1月4日)

[開館時間] 9:30 ~ 17:00

[会場] 徳島県立文学書道館 1階特別展示室、3階収蔵展示室

[観覧料] 一般520(410)円 高校・大学生360(290)円 小・中学生260(200)円

* ()内は20人以上の団体割引料金。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

小・中・高校生は土・日・祝日・冬休み期間中は無料。

主催/徳島県立文学書道館 後援/徳島新聞社・四国放送



現代詩歌は難しい、そう感じている人は多いかもしれません。しかし、詩歌人が鋭い感性でとらえ、選り抜いた言葉で表現した世界は、かつて感じたことのない驚きや感動を私たちにもたらします。本展では、独自の感性が光る徳島ゆかりの6人の詩歌人——詩人の鈴木漠・清水恵子、歌人の紀野恵・田丸まひる、俳人の大高翔・野口る理——の世界を紹介します。その冒険性に富んだ作品を通して、現代詩歌の魅力に迫ります。

鈴木 漠 (すずき・ばく)



詩人。1936年、徳島市生まれ。神戸市在住。1981年、第7詩集『投影風雅』で第14回日本詩人クラブ賞を受賞。日本語の詩には困難とされた脚韻の面白さを追求し、一貫して活字表現(タイポグラフィ)としての現代詩に挑み続けている。

清水 恵子 (しみず・けいこ)



詩人。1951年、香川県小豆島生まれ。高校卒業後、進学を機に徳島県人となる。1995年、第3詩集『あびてあびて』で第5回日本詩人クラブ新人賞を受賞。冷静な目と強い意志で、知的に抑制されたエロスが美しく匂い立つ世界を描く。

関連イベント

詩人対談

鈴木漠×清水恵子

12月14日(土)

14:00~15:30

*申込必要(先着200人)

関連イベント

ことのは歌会

2月2日(日)

14:00~15:30

講師/紀野恵

田丸まひる

*申込必要(定員15人)

紀野 恵 (きの・めぐみ)



歌人。1965年、吉野川市生まれ。「七曜」編集人、未来短歌会選者。高校3年の時に第28回角川短歌賞次席、翌年に第26回短歌研究新人賞次席になる。文語と口語が織りなす典雅な作風は新古典派と称され、言葉で独自の世界を生み出している。

田丸 まひる (たまる・まひる)



歌人、精神科医。1983年、鳴門市生まれ。「七曜」同人。2011年に未来短歌会入会后、わずか1年で未来賞を受賞。日常語を使いながら技巧を駆使した歌は、短歌になじみのない若者にも広く受け入れられ、現代を生きる読者の共感を呼んでいる。

大高 翔 (おおたか・しょう)



俳人。1977年、阿南市生まれ。東京都在住。藍花俳句会副主宰。高校卒業時に刊行した第1句集『ひとりの聖域』のみずみずしい感性が話題を呼ぶ。2016年、第4句集『帰帆』で第1回俳句大学大賞を受賞。確かな感性で「今」をうたい続ける。

野口 る理 (のぐち・るり)



俳人。1986年、鳥取県生まれ。1歳から海部郡で育つ。東京都在住。28歳の時、第1句集『しやりり』で第5回田中裕明賞次席になる。哲学的思索と軽やかなユーモアを併せ持つ独特の作風は、新鮮な発見と驚きを読者にもたらしてくれる。

関連イベント

俳人対談

大高翔×野口る理

1月25日(土)

14:00~15:30

*申込必要(先着200人)

関連イベントの申込方法

はがき・FAX・メールのいずれかにイベント名、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号をご記入の上、お申し込みください。当館1階受付でも申し込みめます。

*「ことのは歌会」は、短歌1首(自由詠)を添えてお申し込みください。締切は10月31日(木)必着。歌会参加者は講師が作品を選考のうえ決定、通知します。

交通アクセス(JR徳島駅から)

■徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号交差点を右折して300m。徳島中学校東隣。

■タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。

■バス

【徳島市営バス】7番乗り場「川内循環(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

【徳島バス】2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

■駐車場

当館北側にあります(43台、大型バス2台)。

